

青果物



奈良県 JAならけん西吉野柿部会 『「奈良の柿」を海外へ』

【主な品目】

柿

【主な輸出先国・地域】

香港

【輸出取組の概要】

- ◆ 若手生産者を中心とした産地から「奈良の柿」を輸出
- ◆ 国内需給バランスを見極め、輸出量を調整
- ◆ 1-メチルシクロプロペンくん蒸剤(1-MCP)の使用により、鮮度、品質を保持

【輸出実績】(平成17年度より輸出開始)

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
平成30年度	1,513	40	7~12月
平成29年度	1,576	47	
平成28年度	2,515	78	

【効果があった取組】

西吉野選果場で開催された「柿の里まつり」等、JA広報誌やマスコミの紹介により知名度がアップした。



香港での販売の様子

【取り組む際に生じた課題】

- ・ 東南アジア地域では高温多湿のため、柿の品質を落とさずに輸出すること。
- ・ 個包装による低温輸送のため手間とコストがかさむこと。

【生じた課題への対応】

- ・ 鮮度保持剤(1-MCP)を使用し、常温輸送を行った。

【対応の結果】

- ・ 鮮度保持剤の使用により、軟化が抑制され、品質の維持が可能となった。
- ・ 非個包装による省力化で、コストを削減できた。



店頭で陳列されている柿

【今後の課題・展望】

- ・ 国内需要が好調な場合は、輸出量は抑えているが、さらなる輸送コストの削減に取り組むとともに、高品質・高価格取引となるよう努める。
- ・ インバウンド等の口コミによる海外需要の増加に期待。

【活用した支援・施策】 平成28年度産地パワーアップ事業

【ウェブサイト】 <http://www.ja-naraken.or.jp>

【連絡先】 担当者名：川北哲也、TEL:0747-34-0007